



## 2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年8月14日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社KVK

コード番号 6484 URL <https://www.kvk.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 末松 正幸

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理本部長兼情報システム部長 (氏名) 北川 喜一 TEL 0574-55-0006

配当支払開始予定日 -

決算補足説明資料作成の有無: 無

決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年3月期第1四半期の連結業績 (2024年4月1日~2024年6月30日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	7,232	△5.1	590	△11.7	602	△10.5	408	0.9
2024年3月期第1四半期	7,619	7.8	667	80.6	674	74.9	405	56.6

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 540百万円 (△17.2%) 2024年3月期第1四半期 652百万円 (74.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	51.27	-
2024年3月期第1四半期	51.02	-

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第1四半期	34,193	27,261	79.7
2024年3月期	34,464	27,010	78.4

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 27,261百万円 2024年3月期 27,010百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	-	25.00	-	35.00	60.00
2025年3月期	-	-	-	-	-
2025年3月期(予想)	-	35.00	-	35.00	70.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

2. 2024年3月期期末配当金の内訳

普通配当 30円 創業85周年記念配当 5円

### 3. 2025年3月期の連結業績予想 (2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	15,000	2.4	1,250	13.3	1,300	15.5	900	27.0	112.90
通期	30,500	2.4	2,600	2.8	2,800	△2.3	1,900	△4.1	238.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期1Q	8,322,178株	2024年3月期	8,322,178株
② 期末自己株式数	2025年3月期1Q	350,294株	2024年3月期	350,294株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年3月期1Q	7,971,884株	2024年3月期1Q	7,942,084株

（注）2024年3月期の期中平均株式数の算定に当たり控除する自己株式には、役員向け株式交付信託及び従業員向け株式交付信託が保有する当社株式を含めております。

また、2024年3月期の期末自己株式数、2025年3月期の期末自己株式及び期中平均株式数の算定に当たり控除する自己株式には、役員向け株式交付信託が保有する当社株式を含めております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー： 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	P. 2
(1) 経営成績に関する説明 .....	P. 2
(2) 財政状態に関する説明 .....	P. 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	P. 2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	P. 3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	P. 3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	P. 5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	P. 5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	P. 6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	P. 7
(継続企業の前提に関する注記) .....	P. 7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	P. 7
(会計方針の変更に関する注記) .....	P. 7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	P. 7
(セグメント情報等の注記) .....	P. 8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期における事業環境は、経済活動の正常化が進み、インバウンド需要の回復や株価上昇の流れのなかで景気は緩やかな回復基調となりました。一方、住宅市場におきましては、建築資材価格や人件費の高騰に伴う住宅価格の上昇および住宅ローン金利の上昇懸念もあり、住宅取得マインドの低迷が長期化しており、非常に厳しい状況が続いております。

このような状況のなか、当社グループは、お客様への新たな価値の提供を目指し、中期経営計画「KVK Innovation」に掲げた重点戦略に取り組んでまいりました。

美容への関心の高まりもあり、直径1 $\mu$ m未満の微細な泡が皮脂汚れを落とすウルトラファインバブルシャワーヘッド「hadamo」の発売以来ご好評をいただいておりますが、より多くのお客様に満足いただけるよう、カラーバリエーション展開、手元止水機能仕様の追加、および浄水機能仕様を追加しラインアップ拡充を行いました。

また、ウルトラファインバブルシャワーの別シリーズとして、直径約120mmを越える大きなシャワーフェイスを搭載し、大流量吐水で贅沢に浴びることが可能なウルトラファインバブルシャワーヘッド（G shower）を発売しました。大量の水を爽快に浴びることができます。

生産能力増強のための新工場棟2棟は、射出成型機と樹脂めっき設備を設置し、今年春より稼働いたしました。稼働率も上昇し、品質も安定しています。将来的には成型品の活用範囲の拡大も見据え、工場のさらなる充実を図ります。

当社は、K P S（KVK Production System）活動を柱に最適生産をめざし、あらゆる無駄の排除とコスト競争力の強化を推し進めています。既設工場生産ラインを含め安全性やコストを考慮した最適な工場レイアウトの見直しを進め、高効率な生産体制づくりを進めてまいります。

当第1四半期の連結業績につきましては、売上高は、営業活動に注力したものの住宅市場が厳しい状況もあり、7,232百万円（前年同期比5.1%減）となりました。利益面では、値上げにより粗利率が改善されつつあるものの、売上高の減少に伴い営業利益は590百万円（前年同期比11.7%減）、経常利益は602百万円（前年同期比10.5%減）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、408百万円（前年同期比0.9%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

資産は、前連結会計年度末に比べ270百万円減少し、34,193百万円となりました。これは主に現金及び預金が262百万円、棚卸資産が188百万円、投資有価証券が150百万円増加した一方で、電子記録債権が481百万円減少したことによります。

負債は、前連結会計年度末に比べ521百万円減少し、6,932百万円となりました。これは主に流動負債が538百万円減少したことによります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ250百万円増加し、27,261百万円となりました。この結果、自己資本比率は79.7%（前連結会計年度末は78.4%）となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点における2025年3月期の第2四半期連結結果計期間および通期の業績予想につきましては、主要な原材料である銅の国内相対取引の建値が依然として高止まりし、また物価の上昇による仕入コスト増加もあり、不透明な状況で推移するものと予想されますが、2024年5月22日発表の業績予想から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,764,992	3,027,416
受取手形	1,318,396	1,254,194
売掛金	3,860,575	3,901,505
電子記録債権	6,055,471	5,574,156
商品及び製品	884,588	1,015,239
仕掛品	1,376,593	1,353,840
原材料及び貯蔵品	1,818,550	1,899,093
その他	461,859	240,035
貸倒引当金	△138,900	△131,600
流動資産合計	18,402,127	18,133,879
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	4,130,900	4,023,775
土地	1,982,683	1,982,683
その他(純額)	3,866,842	3,908,141
有形固定資産合計	9,980,427	9,914,600
無形固定資産	326,619	285,510
投資その他の資産		
投資有価証券	2,507,293	2,657,302
投資不動産	2,396,855	2,382,314
退職給付に係る資産	728,771	744,555
その他	122,051	75,347
投資その他の資産合計	5,754,973	5,859,520
固定資産合計	16,062,020	16,059,631
資産合計	34,464,147	34,193,511

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,616,125	1,577,607
電子記録債務	2,695,063	2,621,271
未払法人税等	392,410	119,745
賞与引当金	480,424	224,908
製品保証引当金	142,000	140,000
その他	1,509,405	1,613,711
流動負債合計	6,835,427	6,297,244
固定負債		
退職給付に係る負債	68,462	67,113
役員株式給付引当金	330,044	338,052
資産除去債務	43,620	43,620
その他	176,179	186,099
固定負債合計	618,305	634,886
負債合計	7,453,732	6,932,130
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,854,934	2,854,934
資本剰余金	3,023,334	3,023,334
利益剰余金	20,531,880	20,651,095
自己株式	△552,325	△552,325
株主資本合計	25,857,823	25,977,039
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	487,932	487,397
為替換算調整勘定	527,263	658,780
退職給付に係る調整累計額	137,395	138,163
その他の包括利益累計額合計	1,152,591	1,284,341
純資産合計	27,010,414	27,261,380
負債純資産合計	34,464,147	34,193,511

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上高	7,619,460	7,232,386
売上原価	5,752,087	5,368,900
売上総利益	1,867,373	1,863,486
販売費及び一般管理費	1,199,425	1,273,406
営業利益	667,948	590,079
営業外収益		
受取利息	161	58
受取配当金	3,909	5,735
投資不動産賃貸料	42,406	41,912
その他	24,033	28,791
営業外収益合計	70,511	76,496
営業外費用		
売上割引	10,759	11,289
投資不動産賃貸費用	29,022	24,958
為替差損	24,375	25,659
その他	251	1,690
営業外費用合計	64,408	63,598
経常利益	674,051	602,978
特別損失		
固定資産除却損	31,854	-
特別損失合計	31,854	-
税金等調整前四半期純利益	642,196	602,978
法人税、住民税及び事業税	144,054	134,279
法人税等調整額	92,936	59,970
法人税等合計	236,990	194,250
四半期純利益	405,206	408,727
親会社株主に帰属する四半期純利益	405,206	408,727

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益	405,206	408,727
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	169,010	△534
為替換算調整勘定	74,900	131,517
退職給付に係る調整額	3,499	767
その他の包括利益合計	247,411	131,750
四半期包括利益	652,617	540,478
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	652,617	540,478

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	240,863千円	264,806千円

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

当社グループは、給水栓・給排水金具・継手及び配管部材の製造・加工・仕入れ及び販売を主事業とする専門メーカーで、所在地別セグメント情報を報告セグメントとしております。

## I 前第1四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年6月30日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	日本	中国	フィリピン	計		
売上高						
外部顧客への売上高	7,493,490	125,969	—	7,619,460	—	7,619,460
セグメント間の内部 売上高又は振替高	50,968	1,653,033	82,411	1,786,413	△1,786,413	—
計	7,544,459	1,779,003	82,411	9,405,874	△1,786,413	7,619,460
セグメント利益	650,559	150,111	2,056	802,728	△134,779	667,948

(注) 1. セグメント利益の調整額△134,779千円には、セグメント間取引消去△7,654千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△142,137千円、棚卸資産の調整額15,012千円が含まれております。全社費用は、主に親会社本社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第1四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年6月30日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	日本	中国	フィリピン	計		
売上高						
外部顧客への売上高	7,123,935	108,451	—	7,232,386	—	7,232,386
セグメント間の内部 売上高又は振替高	63,648	1,603,033	83,650	1,750,332	△1,750,332	—
計	7,187,583	1,711,484	83,650	8,982,718	△1,750,332	7,232,386
セグメント利益	766,478	18,483	2,339	787,301	△197,221	590,079

(注) 1. セグメント利益の調整額△197,221千円には、セグメント間取引消去9,534千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△243,192千円、棚卸資産の調整額36,435千円が含まれております。全社費用は、主に親会社本社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。